

観光文化スポーツ部

産業観光委員会

【議案関係資料】

(当初予算関係)

2月 19 日提出

令和 8 年第 1 回 定例会（2 月 議会）
産業観光委員会・分科会
議案関係提出資料

令和 8 年 2 月 19 日
観光文化スポーツ部

【当初予算関係】

観光戦略課	観光文化スポーツ部令和8年度の主な施策の概要について	4
	観光客受入態勢強化事業について	8
	福岡アンテナショップ移転事業について	10
	観光施設魅力向上事業について	12
誘客推進課	秋田の魅力発見・発信事業について	13
	デジタルデータを活用した誘客促進事業について	15
	インバウンド誘客拡大事業について	17
	市場横断型インバウンド誘客加速化事業について	20
食のあきた推進課	アウトドアツーリズム推進事業について	22
	県産加工品輸出拡大事業について	24
	「あきたの食」のファンマーケティング推進事業について	29
	秋田の食をリードする食品事業者支援事業について	31

交 通 政 策 課	秋田空港利用促進事業について	33
	大館能代空港三往復運航定着支援事業について	34
	地域公共交通の維持・確保関連事業について	36
	地域公共交通再構築促進事業について	38
	秋田県地域公共交通計画策定事業について	39
	鉄道利用促進事業関連予算について	40
	第三セクター一鉄道関連予算について	42
文 化 振 興 課	文化の継承・創造推進事業について	43
	文化芸術がつなぐ交流拡大事業について	45
	若手アーティスト等活動支援・担い手育成事業について	46
ス ポ ー ツ 振 興 課	県民読書環境整備事業について	48
	スポーツ王国創成事業について	50
	県有体育施設整備・改修事業について	53
	スポーツのすそ野拡大事業について	55
	新県立体育館PFI事業について	58
	新県立体育館を核とした賑わい波及事業について	61
	スポーツツーリズム推進による交流拡大事業について	63

観光文化スポーツ部 令和8年度の主な施策の概要について

観光文化スポーツ部

現状

- ・外国人延べ宿泊者数
R6実績 約119千人泊（前年比約23千人増）
- ・旅行消費額（国内＋インバウンド）
R6実績 約1,270億円（－）
うち国内 約1,222億円（前年比約480億円増）
- ・加工食品・日本酒の輸出金額
R6年度実績 約9億9000万円（前年比約3000万円増）
- ・スポーツイベント来場者数等
R6年度実績約649千人（前年比72千人減）
- ・文化芸術イベントへの参加者数（県関与）
R6年度実績約403千人（前年並み）
- ・大館能代空港利用者数
R6年度実績約195千人（前年比22千人増）

主な課題

- ・冬季・端境期などの閑散期と繁忙期との観光需要の平準化
- ・データに基づく国内外への誘客プロモーションの強化
- ・訴求力の高い魅力あるコンテンツの創出
- ・観光産業の生産性とエリアマネジメント力の向上
- ・食品製造業における競争力の強化と販路拡大
- ・スポーツ・文化振興における担い手確保や交流人口拡大
- ・利便性の高い広域・地域交通ネットワークの確立

対応方針

- ・市場分析に基づいたインバウンド誘客の積極的な推進
- ・ウェブサイトのリニューアル等による発信の強化
- ・個人旅行者等が容易に観光情報を収集できる環境づくりを推進
- ・県産食品のEC（電子商取引）サイト等での取引拡大の推進

マーケティングによる効果的なプロモーションと情報発信の強化

観光産業の経営力強化と受入態勢整備

観光産業の持続的な成長

交流の拡大を支える基盤づくり

- ・旅行者のニーズにマッチした受入態勢整備や秋田の特性を生かした観光コンテンツの磨き上げ
- ・多様なマーケットへの対応及び閑散期の需要確保
- ・観光産業の生産性・収益力向上及び観光消費の拡大

- ・交通ネットワークの利便性の向上
- ・新県立体育館の整備に加え、スポーツ・文化芸術活動の促進等による交流人口拡大に向けた取組の推進

「心が動くあきたの観光」の実現

秋田への旅の動機付け

旅行計画のサポート

ウェブ予約等

旅行中

◇戦略的な情報発信(1)～SNS～

- ・対象国主要メディアの記者を招請し発信力の高いウェブ記事を制作・発信
- ・市場分析に基づくターゲット設定とSNSの戦略的活用

- ・県公式観光Instagram等の多様な媒体による情報発信で本県の認知度を向上

◇戦略的な情報発信(2)～公式サイト等～

- ・外国語版観光情報サイト「STAY AKITA」の改修（SEO対策、AI検索への対応、最適化による情報の充実 等）
- ・Googleマップへの情報掲載強化

- ・県公式観光サイト「アキタファン」の改修（サイト来訪者の離脱率の改善、SEO対策等）

◇OTAの活用

- ・海外OTA掲載情報の充実や体験型コンテンツのウェブ予約化支援
- ・OTAを活用した宿泊クーポン券の発行による需要喚起

- ・観光コンテンツのOTAへの登録促進

◇旅行者の満足度向上

- ・宿泊施設の高付加価値化やウェブサイト改修に向けた支援
- ・アウトドアアクティビティ等をはじめとした観光コンテンツの磨き上げ

◎マーケティングによる効果的なプロモーションと情報発信の強化

○マーケティングによる効果的なプロモーションの展開

- ・ウェブサイトのリニューアルや、SNS等を活用したターゲットに届く戦略的な発信の強化
 - ・【新】外国語版観光情報サイト運営事業（53,550千円）※1
 - ・【新】インバウンドデジタルプロモーション事業（31,599千円）※1
 - ・【新】アキタファン改修事業（6,105千円）※2
 - ・【新】アジア市場誘客促進事業（64,435千円）※3
 - ・【新】テーマ別誘客プロモーション推進事業（9,970千円）※3
 - ・【拡】秋田の魅力発見・発信事業（49,666千円）
 - ・【継】アキタファンを活用したデジタルプロモーション事業（5,028千円）※2

○ 戦略的なインバウンド誘客の推進

- ・データによる市場分析に基づくターゲット設定と戦略的なインバウンド誘客の展開
 - ▶（再掲）【新】アジア市場誘客促進事業（64,435千円）※ 3
 - ▶【継】台湾誘客促進強化事業（297,787千円）※ 3
- ・市場にマッチしたOTAによるコンテンツの認知度向上と誘客の拡大
 - ▶【新】体験コンテンツ等掲載促進事業（5,112千円）※ 1
- ・国際チャーター便の更なる活用による誘客の促進
 - ▶（再掲）【継】台湾誘客促進強化事業（297,787千円）※ 3
 - ▶【継】台湾便交流促進事業（2,794千円）

事業名

- ※1 【新】市場横断型インバウンド誘客加速化事業（90,261千円）※2 【拡】デジタルデータを活用した誘客促進事業（11,133千円）
※3 【拡】インバウンド誘客拡大事業（380,899千円）

○「あきたの食」の発信と食品産業の競争力強化

- ・EC（電子商取引）サイトでの取引拡大に向けた取組への支援
 - ・【新】「あきたの食」のファンマーケティング推進事業（27,630千円）
- ・国内外に向けた秋田の「食」の販売強化や戦略的なブランディングの支援
 - ・【拡】県産加工品輸出拡大事業（41,376千円）
 - ・【拡】食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備緊急対策事業（2月補正 300,147千円）
- ・秋田の食をリードする食品事業者への支援とECに取り組む食品事業者の育成
 - ・【継】秋田の食をリードする食品事業者支援事業（46,902千円）



オンライン予約可能な環境等の整備



インバウンド誘客の推進



フード台北秋田県ブース（台湾）

◎観光産業の経営力強化と受入態勢整備

○観光産業の経営力強化

- ・冬季・グリーンシーズンの需要喚起による通年観光の推進
 - 【新】アウトドアツーリズム推進事業（18,394千円）
 - 【新】通年誘客促進事業（2月補正 816,740千円）
- ・宿泊施設の高付加価値化や経営効率化による生産性向上への支援
 - 【拡】宿泊事業者経営力強化支援事業（12月補正 224,152千円）
- ・DMOや観光協会を中心とした観光地域づくりへの支援
 - 【新】観光客受入態勢強化事業（8,633千円）
 - 【継】データに基づく観光戦略推進事業（17,176千円）



宿泊施設の高付加価値化

○秋田の特色を生かしたツーリズムの推進と受入態勢整備

- ・アウトドアアクティビティや特色ある観光コンテンツの磨き上げ
 - （再掲）【新】アウトドアツーリズム推進事業（18,394千円）
 - （再掲）【新】観光客受入態勢強化事業（8,633千円）
- ・新しい旅行スタイルに対応した環境の整備と、発信の強化による旅行者の利便性の向上
 - （再掲）【新】体験コンテンツ等掲載促進事業（5,112千円）※1
 - （再掲）【新】外国語版観光情報サイト運営事業（53,550千円）※1
 - （再掲）【新】アキタファン改修事業（6,105千円）※2
 - （再掲）【新】観光客受入態勢強化事業（8,633千円）
 - （再掲）【拡】宿泊事業者経営力強化支援事業（12月補正 224,152千円）



アウトドアツーリズムの推進

事業名	
※1	【新】市場横断型インバウンド誘客加速化事業（90,261千円）
※2	【拡】デジタルデータを活用した誘客促進事業（11,133千円）

◎交流の拡大を支える基盤づくり

○スポーツによる地域づくり・交流拡大と競技力の向上

- ・新県立体育館の整備による地域の賑わいの創出
 - 【新】新県立体育館を核とした賑わい波及事業（17,000千円）
 - 【継】新県立体育館PFI事業（4,945,290千円）
- ・スポーツツーリズム推進による交流拡大
 - 【拡】スポーツツーリズム推進による交流拡大事業（42,609千円）
- ・デジタル技術を活用した競技力向上とスポーツ活動の推進
 - 【拡】スポーツ王国創成事業（243,489千円）



新県立体育館イメージ

◎交流の拡大を支える基盤づくり

○ 文化芸術による交流の促進と次代を担う人材の育成

- ・若手アーティストや文化芸術を支える人材に対する支援
 - ・【新】若手アーティスト等活動支援・担い手育成事業（7,160千円）
- ・文化芸術を鑑賞・体験できる機会の創出
 - ・【継】文化の継承・創造推進事業（45,766千円）
- ・文化芸術による交流人口・関係人口の拡大
 - ・【継】文化芸術がつなぐ交流拡大事業（20,512千円）
 - ・【継】広域集客型劇場コンテンツ活用事業（16,400千円）

○ 交通ネットワークの維持・拡充

- ・路線バスやコミュニティ交通の維持確保に向けた運行支援
 - ・【新】地域公共交通計画策定事業（19,904千円）
 - ・【拡】地域公共交通再構築促進事業（28,220千円）
 - ・【継】乗合バス路線維持確保事業（130,930千円）
 - ・【継】コミュニティ交通運行支援事業（137,588千円）
- ・第三セクター鉄道とJRローカル線の持続的な運行の確保と観光利用の推進
 - ・【拡】公共交通燃料高騰等対策事業（12月補正433,710千円 2月補正574,600千円）
 - ・【継】第三セクター鉄道事業再構築推進事業（2月補正 122,900千円 R8当初 178,702千円）
 - ・【継】JRローカル線活性化促進事業（6,360千円）
- ・秋田空港・大館能代空港の利用の促進と周辺観光資源を活用した誘客の推進
 - ・【拡】大館能代空港三往復運航定着支援事業（47,176千円）
 - ・【継】秋田空港利用促進事業（13,730千円）
- ・デジタル技術の活用による公共交通等の利便性向上と利用の拡大
 - ・（再掲）【拡】地域公共交通再構築促進事業（28,220千円）



若手アーティスト等の実践機会の創出



コミュニティ交通の再編支援



第三セクター鉄道の観光利用促進

観光客受入態勢強化事業について【新規】

観光戦略課

1 目 的

観光客が多用するGoogleマップによる効果的な情報発信力を強化するとともに、事業者連携による体験型コンテンツの造成等の促進により、観光客の受入態勢整備を図る。

2 概 要

(1) デジタル観光情報発信力強化事業

7, 527千円

観光事業者のGoogleビジネスプロフィールへの登録と効果的な利活用の促進により、デジタル情報の発信力を強化する。

①モデル事業

誘客拡大等が見込まれる2地域程度を対象に、当該地域の観光団体と連携し、観光事業者のGoogleビジネスプロフィールへの登録と効果的な利活用の促進を図る。

[支援予定件数]

- ・100件／地域

[主な支援内容]

- ・Googleビジネスプロフィールのオーナー登録
- ・魅力的な写真等の掲載情報の充実や口コミ対応などのMEO対策（※）
- ・施設名の英語併記や決済情報の明記などのインバウンド対応

※MEO対策:Map Engine Optimization (マップ検索エンジン最適化)対策の略。主にGoogleマップの検索結果で自社を上位に表示させるための方法のこと。

②成果報告会

モデル事業実施の効果（Googleマップ閲覧数の向上、実来訪・売上の増加など）を取りまとめ、成果報告会を開催し、県内各地域に成功事例の横展開を図る。

(2) 多様な旅行ニーズへの対応力強化事業

1, 106千円

観光事業者が連携して行う体験型コンテンツの造成に必要な経費を補助する。

- ・補助対象者：観光関連団体（DMO、観光協会等）と民間事業者（宿泊事業者、観光施設、飲食店、小売店、交通事業者等）の2者以上による連携事業体
- ・補助対象経費：講師謝金、印刷費など体験型コンテンツの造成に要する経費
- ・補助率：10／10
- ・上限額：200千円
- ・補助件数：5件程度

3 予算

8, 633千円

地域未来交付金	4, 217千円
一般財源	4, 416千円

(1) デジタル観光情報発信力強化事業

7, 527千円

内 訳	・旅 費	151千円
	・委託料	7, 336千円
	・使用料及び賃借料	40千円

(2) 多様な旅行ニーズへの対応力強化事業

1, 106千円

内 訳	・旅 費	47千円
	・需用費	20千円
	・役務費	14千円
	・使用料及び賃借料	25千円
	・補助金	1, 000千円

福岡アンテナショップ移転事業について【新規】

観光戦略課

1 目的

北東北三県で設置している福岡アンテナショップ（みちのく夢プラザ）は、福岡市都心部の再開発により、令和9年3月末で現入居先からの退去が必要になることから、新たな店舗に移転し運営を継続することとし、令和9年4月のオープンに向け、賃貸借契約、改装工事を行う。

2 移転の基本方針

移転候補地は、小売業の集積など集客等の観点から、現店舗所在地と同じ福岡市天神地区周辺とし、店舗面積・賃料等は現店舗を基本として検討する。

3 今後のスケジュール

令和8年	9月頃まで	移転先物件の情報収集・選定
〃	10月	新店舗賃貸借契約（令和8年度分）
〃	10月～	改装工事
令和9年	2月議会	新店舗賃貸借契約に係る債務負担行為の設定
〃	3月	新店舗賃貸借契約（令和9年度以降分）
		引越し作業、現店舗退去
〃	4月	新店舗オープン

4 予算額

		56,922千円
新店舗入居費		51,393千円
内訳	・使用料及び賃借料（敷金、賃料6か月分）	16,944千円
	・負担金補助及び交付金（仲介手数料、工事費等）	34,449千円
現店舗退去費	・負担金補助及び交付金（産業廃棄物処分費等）	5,000千円
事務費	・旅費（物件調査、打ち合わせ等）	529千円

〈参考〉

○現アンテナショップの概要（令和3年4月移転後）

- ・住 所：福岡市中央区天神2丁目新天町商店街内
- ・総面積：319.900 m²（96.77 坪）
- ・家 賃：30,360 千円/年（本県負担 10,120 千円/年）
- ・坪単価：26,145 円
- ・年間購買客数（R 6）：101,789 人（前年度比 3,979 人増）
- ・年間売上額（〃）：約1億5,180 万円※前年度比 4.5%増（秋田県約 4,300 万円※前年度比 6.3%増）
- ・取扱品目数（R 8.1 月時点）：三県合計 1,245 品（秋田 408 品、青森 399 品、岩手 438 品）



現店舗の外観



店内の様子



酒販売会の様子

観光施設魅力向上事業について

観光戦略課

1 目 的

県有観光施設の魅力向上による誘客の促進等を図るため、利用者の安全安心の確保や利便増進に向けた改修等を行う。

2 概 要

施 設 名	工 事 名 等	工 事 概 要 等	予算額 (千円)
大潟スポーツ宿泊センター	防排煙設備更新	腐食により動作不良となっている排煙装置等の更新(一式)	1,986
	防火スプリンクラー設備修繕	経年劣化により動作不良となっている排水弁等の交換(一式)	848
秋の宮山荘	機械室扉交換・給水管布設替	腐食により密閉状態を保持できない機械室屋外扉の交換等(一式)	3,850
鳥海観光宿泊センター	従業員宿舍給水設備等修繕	経年劣化により不具合が発生している従業員宿舍の給水設備の改修(5室)	2,888
男鹿水族館	浄化槽関係設備更新	不具合の発生している給排気ファン等の更新(一式)	6,870
	排煙口修繕	腐食により開閉不良となっている排煙口の修繕(一式)	722
田沢湖スキー場	銀嶺クワッドリフト握索装置オーバーホール	搬器とロープを保持する装置のオーバーホール(140組)	79,501
	大型浄化槽スパローター更新	動作不良となっている浄化槽の空気攪拌装置の交換(一式)	3,176
合 計			99,841

3 予算額 99,841千円

県 債 82,300千円 一般財源 17,541千円	内 訳 ・旅 費 104千円 ・需 用 費 8,246千円 ・工事請負費 91,481千円 ・使用料及び賃借料 10千円

秋田の魅力発見・発信事業について

誘客推進課

1 目 的

本県ゆかりの著名人、アニメ・マンガコンテンツ等を活用した戦略的な情報発信を行うとともに、首都圏等のメディアへのパブリシティ活動を強化することで、本県の認知度向上を図り誘客につなげる。

2 概 要

(1) 魅力発信と情報交流による秋田ファンの拡大

23, 105千円

①県公式観光 Instagram での情報発信

県ゆかりのインフルエンサー等を活用した、秋田ならではのコンテンツを発信する。

・委託先：株式会社コムニコ（予定）

②県ゆかりの著名人とのネットワークの活用

「あきた音楽大使」高橋優氏主催の「秋田 CARAVAN MUSIC FES」を契機とし、開催地にかほ市周辺を紹介するガイドブックの制作や写真展の開催により、県内周遊を促進する。

・委託先：(株)リントウ（高橋優氏の所属芸能事務所）（予定）

③ロケ支援体制の強化

本県が舞台となる映画やアニメ等の制作支援を行い、聖地巡礼等の観光需要を取り込む。

(2) アニメ・マンガを活用した誘客促進事業

8, 561千円

「クレヨンしんちゃん」家族都市プロジェクトに参画するほか、本県が一部舞台となる映画の公開に合わせて、鉄道会社と連携したスタンプラリーやラッピング列車の運行等を行う。

・委託先：(株)双葉社 ほか（予定）

(3) パブリックリレーションズ推進事業

18, 000千円

首都圏のテレビ・雑誌等のメディアに対し、PR会社を活用して本県の魅力ある観光コンテンツ等売り込み、メディアへの露出を通じて、本県の認知拡大と来訪意欲の喚起を図る。



県公式 Instagram



ガイドブック



内陸線ラッピング

3 予算額

49,666千円

(1) 魅力発信と情報交流による秋田ファンの拡大

23,105千円

内 訳

・報償費	70千円
・旅 費	900千円
・需用費	20千円
・役務費	71千円
・委託料	20,984千円
・使用料及び賃借料	960千円
・負担金補助及び交付金	100千円

委託料の内訳

・Instagram 運営管理	8,184千円
・ガイドブック制作	11,700千円
・ロケ地マップ制作等	1,100千円

(2) アニメ・マンガを活用した誘客促進事業

8,561千円

内 訳

・旅 費	396千円
・需用費	30千円
・役務費	35千円
・委託料	8,100千円

委託料の内訳

・スタンプラリー企画	1,400千円
・内陸線ラッピング列車	1,400千円
・家族都市協定事業	4,800千円
・フォトスタンド設置	500千円

(3) パブリックリレーションズ推進事業

18,000千円

内 訳

・旅 費	182千円
・委託料	17,818千円

委託料の内訳

・メディア向けPRの企画・実施等	17,818千円
------------------	----------

デジタルデータを活用した誘客促進事業について

誘客推進課

1 目 的

県公式観光サイト「アキタファン」を、閲覧したユーザーがより使いやすく、観光消費につながるサイトにするため、同サイトを改修するとともに、本県の誘客ターゲット層に向けたデジタルプロモーションにより、認知度を向上させ、旅行意欲を喚起する。

2 概 要

(1) アキタファン改修事業

6, 105千円

ユーザーが本県の観光情報を容易に取得し、スムーズに体験予約ができるよう、専門家の支援を受けながら改修を行う。

- ・実施内容：ウェブ上での露出強化のためのAI・SEO対策（※）
体験OTAサイトとの連携機能強化 等
- ・委 託 先：ノリット・ジャポン株式会社、株式会社EPOCH（予定）
- ・公開時期：令和8年12月リニューアル公開予定
- ※ AI 対策：Google 検索などで表示されるAIによる要約に優先的に選ばれる情報源になるため、サイト情報や構造のブラッシュアップを行うこと。
- SEO 対策：検索結果の一覧でウェブサイトがより上位に表示されるように
サイト情報や構造をブラッシュアップすること。

県公式観光サイト「アキタファン」の概要

- ・開設時期：令和2年度末
- ・主な機能：県内観光スポット・イベント、
体験特集記事、モデルコース
等
- ・P V 数：約300万（R6年度）

(2) アキタファンを活用したデジタルプロモーション事業

5, 028千円

アキタファンの閲覧者を増やし、本県の認知度を向上させるため、デジタルプロモーションの実施やその結果分析などにより、新たなターゲット層を探る。

- ・実施内容：アキタファンに掲載する体験記事の制作
広告配信による「アキタファン」体験記事への誘導とウェブアクセス解析
新たなターゲット層への旅行意欲調査 等
- ・委 託 先：企画提案競技により選定



秋田県公式観光サイト「アキタファン」

3 予算額

	11,133千円
〔地域未来交付金	5,554千円
一般財源	5,579千円

(1) アキタファン改修事業

6,105千円

内 訳

・委託料 6,105千円

委託料の内訳

・設計・改修費	2,233千円
・OTA連携費	1,452千円
・専門家伴走支援費	2,420千円

(2) アキタファンを活用したデジタルプロモーション事業

5,028千円

内 訳

・旅 費	24千円
・需用費	10千円
・役務費	20千円
・委託料	4,959千円
・使用料	15千円

委託料の内訳

・広告費	2,022千円
・記事制作等費	1,072千円
・調査・分析費	1,865千円

1 目 的

台湾便の安定的な運航や利用促進を図るとともに、アジア市場等に対してターゲットを絞った戦略的な情報発信を展開することで、旅行先としての本県の認知度を高め、インバウンド誘客の拡大を図る。

2 概 要

(1) 台湾誘客促進強化事業

297,787千円

タイガーエア台湾及び現地旅行会社に対し運航経費や旅行商品造成費の支援を行うほか、SNS等による情報発信や現地プロモーションを実施する。

- ・事業内容：航空会社、旅行会社に対する支援
食と観光プロモーションの実施 等
- ・委 託 先：台湾のマーケティングサポート事業者（予定）

(2) アジア市場誘客促進事業【新規】

64,435千円

アジアのターゲット市場における本県の「旅行先」としての認知度を高めるため、訴求力の高い情報発信や現地セールスを行うほか、海外の旅行会社を仲介するランドオペレーターと連携した県内観光関係事業者のセールス力強化を図る。

- ・事業内容：個人旅行者を主なターゲットとした戦略的なSNS情報発信
旅行商品の実売を前提とした現地旅行会社セールス・旅行博出展
ランドオペレーターを講師とした事業者向け研修会 等
- ・対象市場：香港・中国・韓国・タイ
- ・委 託 先：各市場のマーケティングサポート事業者等（予定）



台湾便利用者へのおもてなし



食と観光のPR



海外旅行会社のファムツアー



(3) テーマ別誘客プロモーション推進事業【新規】

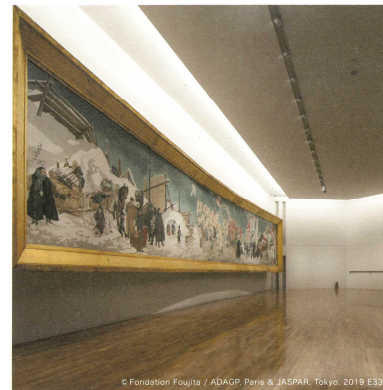
9, 970千円

雪国ならではのスノーアクティビティや、本県の文化・芸術の魅力による誘客を図るため、SNSや現地プロモーションを通じた情報発信を展開する。

- ・事業内容：SNS・メディアを用いたスノーアクティビティの情報発信（豪州）
現地プロモーションを通じた文化・芸術コンテンツの発信（フランス）
- ・委託先：各市場のマーケティングサポート事業者等（予定）



スノーアクティビティ



秋田県立美術館「秋田の行事」
【出典：県立美術館リーフレット】

(4) 東北・新潟広域連携事業

8, 707千円

東北観光推進機構と連携し、現地旅行博への出展や旅行会社向けセミナー・商談会を含む広域プロモーションを東北一体で展開する。

- ・対象市場：台湾・香港・中国・タイ・欧州・豪州・シンガポール

3 予算額

380, 899千円

地域未来交付金	41, 338千円
諸収入	16千円
一般財源	339, 545千円

(1) 台湾誘客促進強化事業

297,787千円

内 訳	・人件費	3,426千円	委託料の内訳	・航空会社、旅行会社の支援	246,167千円
	・報償費	240千円		・旅行商品造成の支援	9,923千円
	・旅 費	7,388千円		・食と観光プロモーションの実施	13,668千円
	・需用費	500千円		・現地旅行博等への出展	5,351千円
	・役務費	700千円		・トップセールスの実施	3,025千円
	・委託料	285,533千円		・SNS等による情報発信	4,249千円
				・現地コーディネーター設置	3,150千円

(2) アジア市場誘客促進事業

64,435千円

内 訳	・報償費	250千円	委託料の内訳	・ファムツアー・インフルエンサー	9,135千円
	・旅 費	4,664千円		・トップセールスの実施	2,359千円
	・需用費	300千円		・SNS等による情報発信	29,842千円
	・役務費	600千円		・現地コーディネーター設置	6,650千円
	・委託料	58,395千円		・旅行商品造成・販売	10,409千円
	・使用料	146千円			
	・補助金（負担金）	80千円			

(3) テーマ別誘客プロモーション推進事業

9,970千円

内 訳	・報償費	50千円	委託料の内訳	・SNS等による情報発信	2,130千円
	・旅 費	750千円		・現地プロモーションの実施	7,010千円
	・役務費	30千円			
	・委託料	9,140千円			

(4) 東北・新潟広域連携事業

8,707千円

内 訳	・旅 費	157千円
	・需要費	50千円
	・役務費	100千円
	・負担金	8,400千円

1 目 的

個人旅行の増加やデジタルを用いた旅行情報収集トレンドに対応した誘客を推進するため、戦略的なプロモーションにより本県の認知度と来訪意欲を高めるとともに、外国語版観光情報サイトや海外O T Aによる情報発信を強化する。

2 概 要

(1) インバウンドデジタルプロモーション事業

31,599千円

対象国主要メディアの記者を招請し発信力の高いウェブ記事を制作・配信するほか、海外向け配信サービスを活用したプレスリリースを各国メディアへ戦略的に展開することで、効果的に本県の認知度拡大を図るとともに、旅行者の来訪意欲の向上を図る。

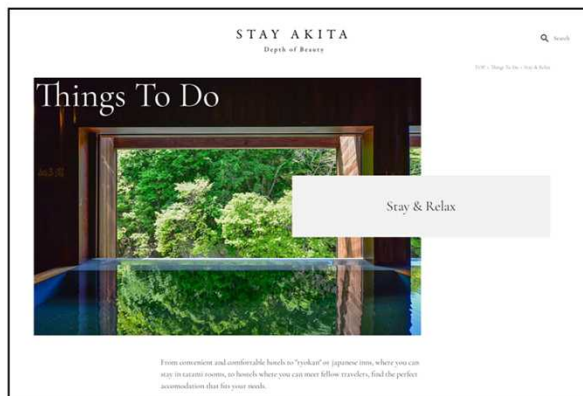
- ・ 委 託 先：海外P R会社（予定）
- ・ 対 象 国：台湾・香港・中国・韓国・タイ・豪州

(2) 外国語版観光情報サイト運営事業

53,550千円

外国語版観光情報サイトをS E O（検索エンジン最適化）やA I 検索に対応したものにリニューアルすることで、情報の「見つけやすさと予約しやすさ」を向上させるとともに、プロモーション効果を可視化し評価する仕組みを導入することで、旅行者の利便性向上とデジタル化に対応した情報発信体制の構築を図る。

- ・ 事業内容：外国語版観光情報サイトのリニューアル
プロモーションの成果を評価できる仕組みの導入
- ・ 委 託 先：インバウンド向けサイトの制作実績のあるウェブ制作会社（予定）



現行の外国語版観光情報サイト「STAY AKITA」

モバイル版

- (3) 体験コンテンツ等掲載促進事業 5, 112千円
- 県内観光事業者の海外OTAへの体験コンテンツの掲載・販売を伴走支援することで、秋田の認知度や旅行者の利便性を向上させ、インバウンド誘客の拡大を図る。
- ・委託先：海外OTA運営会社日本代理店（予定）
 - ・支援対象：県内観光事業者20社程度

3 予算額 90, 261千円

(1) インバウンドデジタルプロモーション事業 31, 599千円

内 訳	・旅 費 47千円 ・委託料 31, 552千円	委託料の内訳	・ターゲット国の主要メディアへのウェブ記事掲載 29, 112千円 ・プレスリリースを通じた秋田の話題化 2, 440千円
-----	---	--------	--

(2) 外国語版観光情報サイト運営事業 53, 550千円

内 訳	・旅 費 228千円 ・需用費 200千円 ・役務費 200千円 ・委託料 52, 922千円	委託料の内訳	・外国語版観光情報サイトリニューアル 48, 031千円 ・プロモーション効果分析 4, 891千円
-----	--	--------	---

(3) 体験コンテンツ等掲載促進事業 5, 112千円

内 訳	・旅 費 85千円 ・委託料 5, 027千円	委託料の内訳	・海外OTAへの体験コンテンツ等掲載 5, 027千円
-----	--	--------	---

アウトドアツーリズム推進事業について【新規】

誘客推進課

1 目 的

アウトドア体験商品の造成から販売までを支援するとともに、関係自治体等と連携した世界自然遺産「白神山地」のプロモーションを展開し、国内外からの誘客を図る。

2 概 要

(1) アウトドアアクティビティを活用した誘客促進事業

12,912千円

県内観光事業者が提供するアウトドア体験商品について、OTAによる販売及び新たなコンテンツ造成等を支援するとともに、観光大使等を活用した情報発信を行う。

- ・実施内容：セミナーや体験モニターツアー等による伴走支援の実施
観光大使等による体験リール動画の撮影とSNS等による情報発信
- ・委 託 先：企画提案競技等により選定



スノートレッキング



カヤックツアー



シャワークライミング

(2) 世界遺産を活用した誘客促進事業

5, 482千円

青森県等との連携による白神山地を活用したアウトドアイベントの開催や世界自然遺産を有する6都道県と連携したプロモーションを実施する。

- ・実施内容：青森県及び両県関係市町村と連携した「SEA TO SUMMIT 白神山地」(※)の開催

6都道県共同ウェブサイトによる情報発信や商談会等の実施

※SEA TO SUMMIT：人力のみで海（カヤック）から里（自転車）、そして山頂（登山）へと進む中で、自然の循環に思いを巡らせ、かけがえのない自然について考える環境スポーツイベント

【参考】SEA TO SUMMIT：<https://www.seatosummit.jp/>



3 予算額

18, 394千円

地域未来交付金	6, 357千円
一般財源	12, 037千円

(1) アウトドアアクティビティを活用した誘客促進事業

12, 912千円

内 訳

・旅 費	197千円
・需用費	120千円
・委託料	12, 595千円

委託料の内訳

セミナー等磨き上げ支援	4, 620千円
体験モニターツアー	2, 090千円
情報発信	5, 885千円

(2) 世界遺産を活用した誘客促進事業

5, 482千円

内 訳

・旅 費	1, 038千円
・需用費	100千円
・委託料	4, 344千円

委託料の内訳

開会式、会場運営費	3, 399千円
安全対策費	385千円
サイト運営費	560千円

県産加工品輸出拡大事業について

食のあきた推進課

1 目 的

新たに輸出に取り組む事業者や更なる販路拡大を目指す事業者に商談やプロモーションの機会を提供することで、本県加工品の輸出拡大を図る。

2 対象国・地域

台湾、韓国、中国、香港、シンガポール、フランス 等

3 概 要

(1) 台湾への県産品販路拡大強化事業

7, 958千円

現地コーディネーターを活用した県産品の認知度向上やマッチングのほか、トップセールスや見本市への出展等を通じたプロモーションを行うことで、台湾における販路拡大を支援する。

・委託先：(株)エフアイジェイ（予定）



台湾での食品見本市

(2) 北東北三県・北海道ソウル事務所物産共同事業

1, 690千円

北東北三県・北海道ソウル事務所と連携し、展示会への出展やバイヤーの招へいにより販路拡大を支援する。

・委託先：(一社)秋田県観光連盟

(3) 香港への県産品販路拡大推進事業

6, 442千円

食品展示会「フードエキスポ香港 2026」への出展やバイヤー招へい等を通じ、香港における販路拡大を支援する。

・委託先：btob Limited（予定）



香港バイヤーの招へい

(4) フランスへの県産品PR事業

2,000千円

フランスへの輸出に取り組む県内企業の県産品プロモーションなど、認知度向上や販売促進を支援する。

- ・補助先：秋田県加工食品輸出拡大協議会（予定）
- ・補助上限額：2,000千円
- ・補助率：1／2

(5) 日本酒の海外販路拡大事業

13,086千円

県産日本酒の輸出拡大のため、シンガポールの日本酒イベントへの出展やバイヤー招へいのほか、日本酒の地理的表示（GI）指定に向けた支援、日本酒インフルエンサーを活用した情報発信を行う。

①シンガポールでの日本酒の認知度拡大

現地日本酒イベントに出展するとともに、バイヤーやレストランオーナーによる酒蔵視察・商談を実施する。

- ・委託先：Vivid Creations Pte Ltd（予定）

②日本酒地域GI指定に向けた支援

GI指定に係る検討会議や認知度向上に要する経費を支援する。

- ・補助対象：秋田県酒造組合（予定）
- ・補助上限額：4,000千円
- ・補助率：1／2

③日本酒インフルエンサーを活用した情報発信

アジアで影響力のある日本酒インフルエンサーを招へいし、日本酒イベントや酒蔵の情報を発信することにより県産酒の認知度向上を図る。

- ・委託先：企画提案競技により選定



Sake Matsuri シンガポール

(6) 県産加工品海外販路開拓事業

10,200千円

県産加工品の新たな販路開拓のため、中国大手EC（電子商取引）モールへの出店やハラル市場に向けた新規輸出商材の掘り起こし、県内企業の連携による海外営業や輸出手続などの取組を推進する。

・委託先：【中国越境ECモールへの出店】詩の国秋田(株)（予定）

【ハラル市場に向けた新規輸出商材の掘り起こし】（一社）ハラル・ジャパン協会（予定）

【事業者連携による輸出への伴走支援】(株)STANDAGE（予定）

4 予算額

41,376千円

地域未来交付金	15,602千円
一般財源	25,774千円

(1) 台湾への県産品販路拡大強化事業

7,958千円

内訳

・報償費	30千円
・旅費	1,500千円
・需用費	40千円
・役務費	80千円
・委託料	6,268千円
・使用料及び賃借料	40千円

委託料の内訳

・現地コーディネーターの設置等	4,425千円
・トップセールスの実施	1,843千円

(2) 北東北三県・北海道ソウル事務所物産共同事業

1, 690千円

内 訳

・報償費	12千円
・旅 費	300千円
・需用費	24千円
・役務費	24千円
・委託料	1,310千円
・使用料及び賃借料	20千円

委託料の内訳

・韓国輸入博覧会への出展	378千円
・バイヤー招へい等	879千円
・事務費	53千円

(3) 香港への県産品販路拡大推進事業

6, 442千円

内 訳

・報償費	30千円
・旅 費	875千円
・需用費	20千円
・役務費	70千円
・委託料	5,407千円
・使用料及び賃借料	40千円

委託料の内訳

・フードエキスポ香港への出展	3,507千円
・バイヤー招へい等	1,900千円

(4) フランスへの県産品PR事業

2, 000千円

内 訳

・補助金補助及び交付金	2,000千円
-------------	---------

(5) 日本酒の海外販路拡大事業

13,086千円

内 訳

・報償費	12千円
・旅 費	1,065千円
・需用費	24千円
・役務費	44千円
・委託料	7,921千円
・使用料及び賃借料	20千円
・補助金補助及び交付金	4,000千円

委託料の内訳

・Sake Matsuri シンガポールへの出展	5,700千円
・インフルエンサー招へい	2,221千円

(6) 県産加工品海外販路開拓事業

10,200千円

内 訳

・委託料	10,200千円
------	----------

委託料の内訳

・中国ECモールへの出展	3,000千円
・ハラル市場セミナーの開催等	600千円
・事業者連携に向けた伴走支援	6,600千円

「あきたの食」のファンマーケティング推進事業について【新規】

食のあきた推進課

1 目 的

食品分野のE C（電子商取引）市場の拡大を背景に、全国の消費者に向けた県産食品のE C販売を促進することで、物価高騰の影響を受けている県内食品事業者の売上拡大や新規顧客獲得等を支援し、「稼ぐ力」の向上を図る。

2 概 要

（1）WEB物産展開催事業

26, 130千円

モール型E Cサイト上でWEB物産展を展開し、全国の消費者に「あきたの食」が目にとまる機会を創出する。

- ・事業内容：①WEB物産展の開催（約1か月間×2回）
②食品のE Cサイト上での売上・購入者等に係るデータの分析及び事業者へのフィードバック
 - ・購入者のプロフィール（具体像）
 - ・消費トレンド
 - ・他県商材との売上傾向比較 等

- ・委 託 先：楽天グループ株式会社（予定）



1/9～2/6 に実施した秋田県 WEB 物産展

（2）県産品販売サイトブラッシュアップ支援事業

1, 500千円

E Cに参画できていない小規模メーカーの商品をはじめ、多くの県産品を取り扱う（株）秋田県物産振興会の販売サイトを、消費者の購買意欲を高める魅力的なサイトにブラッシュアップする取組を支援する。

- ・補 助 先：（株）秋田県物産振興会
- ・補 助 率：1／2以内
- ・補助上限額：1, 500千円

3 予算額

27, 630千円
(物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金)

(1) WEB物産展開催事業

		26, 130千円
内 訳	・旅 費	179千円
	・需用費	60千円
	・役務費	10千円
	・委託料	25, 841千円
	・使用料及び賃借料	40千円
委託料の内訳		
	・物産展ページ制作費	4, 400千円
	・物産展プロモーション費	10, 650千円
	・アンケート実施費	1, 320千円
	・消費動向分析ツール導入	891千円
	・物産展売上等データ分析費	3, 300千円
	・事務費等	5, 280千円

(2) 県産品販売サイトブラッシュアップ支援事業

		1, 500千円
内 訳	・負担金補助及び交付金	1, 500千円

秋田の食をリードする食品事業者支援事業について

食のあきた推進課

1 目 的

県内の食品産業を牽引し、賃金水準の向上や雇用の創出にも寄与するリーディングカンパニーを創出するとともに、事業者間連携を推進することで、食品事業者の事業基盤と競争力の強化を図る。

2 概 要

(1) 食品事業者連携促進事業

6, 562千円

食のリーディングカンパニーを目指す事業者への伴走支援を実施するとともに、食品事業者の連携を促進するため、食品産業施策の総合窓口となる伴走コーディネーターを配置する。

(2) デジタルを活用した食のリーディングカンパニー育成支援事業

40, 340千円

デジタル技術の積極的な導入や、新商品開発・販路開拓等による経営規模の拡大や生産性及び企業価値の向上に資する取組に必要な経費を補助する。

【補助対象】

- ① 令和7年度からの継続支援事業者：2件
 - ・上 限 額：1, 000万円
 - ・支援事業者：秋田米飯給食事業協同組合
秋田銘醸(株)
- ② 令和8年度からの新規支援事業者：2件程度
 - ・上 限 額：1, 000万円
 - ・補 助 期 間：最長2年間

【補 助 率】 2／3以内

【補助要件】 事業経費の10%以上をデジタル技術導入に投資する他、労働生産性や給与総額の増加を達成する事業計画を作成すること。



R6-7 異業種連携
(新たな洋菓子開発)



R7-8 設備導入
(大型食器洗浄機)

3 予算額

	46,902千円
地域未来交付金	10,062千円
諸収入	26千円
一般財源	36,814千円

(1) 食品事業者連携促進事業

	6,562千円
内 訳	5,489千円
・人件費（伴走コーディネーター）	919千円
・旅 費	36千円
・需用費	5千円
・役務費	113千円
・使用料及び賃借料	

(2) デジタルを活用した食のリーディングカンパニー育成支援事業

	40,340千円
内 訳	159千円
・旅 費	100千円
・需用費	24千円
・役務費	57千円
・使用料及び賃借料	40,000千円
・負担金補助及び交付金	

秋田空港利用促進事業について

交通政策課

1 目的

航空会社との連携や空港利用促進協議会を母体とした取組を推進し、本県と大都市圏域を結ぶ航空ネットワークの維持と交流人口の拡大を図る。

2 概要

(1) 秋田空港路線観光利用促進事業

11,500千円

旅客を増やし路線維持に繋げるため、航空会社及び旅行会社と連携し、就航先の現地メディアを活用しながらプロモーションと送客事業を実施する。



航空会社による特設サイト

(2) 冬季旅行商品造成支援事業

1,200千円

旅行会社に対し、秋田空港を利用した冬季旅行商品の造成を支援する。

(3) 秋田空港官民連携事業

1,030千円

官民が連携した利用促進事業を行うため、秋田空港利用促進協議会に対し負担金を支出する。



札幌駅前通地下歩行空間で実施した秋田一丘珠線直行便PR

3 予算額

13,730千円
(負担金補助及び交付金)

大館能代空港三往復運航定着支援事業について

交通政策課

1 目 的

民間アドバイザーの助言をもとに、航空会社等と連携した誘客拡大策や利用促進協議会を母体とした取組を推進し、大館能代空港の三往復運航の定着と交流人口の拡大を図る。

2 概 要

- (1) 空港アドバイザー配置事業 1, 100千円
大館能代空港利用促進協議会に、専門的な知見や経験を有する民間アドバイザーを引き続き配置し、指導・助言を得ながら、効果的な利用促進に取り組む。
・アドバイザー：(株)南紀白浜エアポート 代表取締役社長 岡田 信一郎 氏
- (2) 大館能代空港官民連携事業 2, 800千円
官民が連携した利用促進事業を行うため、大館能代空港利用促進協議会に対し負担金を支出する。
- (3) 空港リピーター創出事業 18, 800千円
①航空会社等と連携したターゲット型利用促進事業 8, 000千円
羽田空港におけるイベント開催による情報発信のほか、航空会社及び西日本の自治体と連携し羽田を介した乗継客の大館能代空港利用を促進する。
②会員制マーケットを活用した利用促進事業 8, 000千円
福利厚生代行を担う事業者の有する会員制マーケット内における情報発信により、大館能代空港圏域の魅力をPRし、空港の利用促進を実施する。
③新たな旅行商品造成・定着促進事業 2, 800千円
旅行会社に対し、大館能代空港を利用した新たな旅行商品の造成を支援する。

(4) 空港ファン・リピーター創出事業

3, 500千円

大館能代空港ファンクラブ会員を増やすため、会員向けの特典やLINE等による情報発信を充実させるとともに、会員限定ツアーやイベントを開催する。

(5) 大館能代空港インバウンド促進事業

20, 976千円

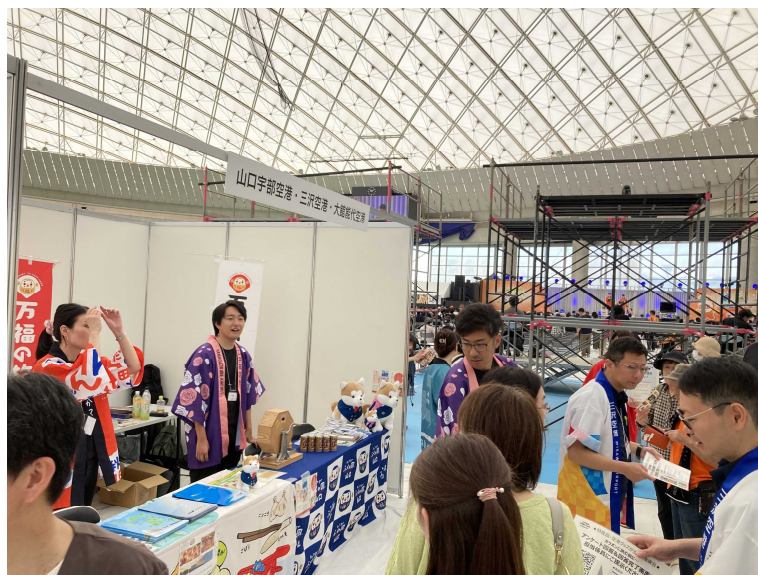
来日前の「旅マエ」の外国人、来日している「旅ナカ」にある外国人に向けて適切なプロモーションを実施し、秋田県の観光の魅力を訴求し、興味・関心を喚起し、大館能代空港を利用する誘客につなげる。

3 予算額

47, 176千円

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	39, 776千円
一般財源	7, 400千円

(負担金補助及び交付金)



青森県と共同で山口県のイベントへ出展
(令和7年度実施)

ANAインバウンド客向けサイト
「JAPAN TRAVEL PLANNER」



ANA外国人向けサイト
(令和7年度実施)

1 目 的

住民生活や地域社会に必要なバス路線の運行等を支援することにより、地域公共交通網の維持・確保を図る。

2 概 要

(1) 乗合バス路線維持確保事業 130,930千円

バス路線を維持・確保するため、バス事業者等に対し、運行経費の一部を補助する。

①地方バス路線運行対策費補助 71,613千円

- ・補助対象：広域的・幹線的な路線の運行経費（18系統）
- ・補 助 率：国1／2（事業者への直接補助）、県1／2

②生活バス路線維持費等補助 59,317千円

- ・補助対象：市町村が助成する生活バス路線の運行経費（40系統）
 - ・補 助 率：県1／2、3／8、1／8（平均乗車密度（※）により3段階に区分）
- ※起点から終点まで平均して乗客が何人いるかを算出した数値

(2) コミュニティ交通運行支援事業 137,588千円

地域内の生活交通を確保するため、市町村に対し、運行経費の一部を補助する。

①地域内フィーダー系統確保維持費補助 70,501千円

- ・補助対象：市町村が運営する乗合タクシー等で国の地域内フィーダー系統（※）補助金の対象となっているもの（100系統）
- ※（1）①の広域的・幹線的なバス路線等に接続する補完的な路線
- ・補助条件：国庫補助上限額が運行経費の欠損額の1／2を下回った場合に、国庫補助と同額の範囲でその差額を補助

②コミュニティ交通運行費補助 60,780千円

- ・補助対象：市町村が運営する乗合タクシー等（124系統）
- ・補 助 率：県1／2

③コミュニティ交通再編促進補助 6,307千円

- ・補助対象：路線バスの廃止等に伴うコミュニティ交通への再編における実証運行に要する経費（4系統）
- ・補 助 率：県1／2

3 予算額

(1) 乗合バス路線維持確保事業 268,518千円 130,930千円（負担金補助及び交付金）

(2) コミュニティ交通運行支援事業 137,588千円（負担金補助及び交付金）



乗合バス（秋田中央交通）



コミュニティバス（大仙市）



乗合タクシー（藤里町）

■ バス補助制度の概念図

補助制度 平均乗車密度	乗合バス路線維持確保事業		コミュニティ交通運行支援事業		
	地方バス (地域間幹線系統)	生活バス	地域内フィーダー系統	コミュニティ交通運行費	コミュニティ交通再編促進
5人以上	国1/2 県1/2 (全額補填)	県1/2 市町村1/2	国・県1/2以内 市町村1/2	県1/2 市町村1/2	県1/2 市町村1/2
3人以上5人未満	国1/2 県1/2 (一部補填)	県3/8 市町村3/8			
1人以上3人未満 (市町村をまたぐ系統)	※市町村が独自に 支援する場合あり	県1/8 市町村5/8			
1人以上3人未満 (市町村内完結系統)		市町村が独自に支援 する場合あり			
1人未満				市町村が負担	
運行主体	バス事業者・法定協議会		交通事業者・市町村	市町村	
運行事業者	バス事業者		交通事業者・市町村	交通事業者・市町村・NPO・住民組織等	
運行形態	路線バス		コミュニティバス、乗合タクシー、デマンド交通 等		

※地方バス(地域間幹線系統)は、平均乗車密度5人以下であっても、1日の輸送量が15人以上であれば補助対象となりうる

※地域内フィーダー系統・コミュニティ交通再編促進については、平均乗車密度の補助要件はない

※運行事業者…自ら又は委託を受けて運行する事業者

※◀…▶ は、補助対象額の一部のみ補助

1 目的

利用者の減少や乗務員不足により、バス事業者等を取り巻く環境が厳しさを増す中、地域の実情に即した、より利便性の高いコミュニティ交通への円滑な移行を促すための支援を拡充することで、地域公共交通の再編に向けた取組を促進する。

2 概要

(1) 地域公共交通再構築ネットワーク協議会の開催 1, 042千円

地域公共交通の再編を促進するため、県内市町村等を対象とした協議会の開催によりノウハウを共有するとともに、地域別のワーキンググループの開催により、市町村間の調整が必要となる路線の再編等に向けた伴走支援を実施する。

(2) 地域公共交通再構築促進事業費補助 27, 178千円

地域公共交通の再編を促進するため、再編に向けた地域ニーズの把握や運行計画の立案、実証運行等の取組に係る経費の一部を補助する。

- ・補助対象：市町村、NPO団体等
- ・補助率：1／2



A I オンデマンドタクシーの実証運行
(由利本荘市「のれッタ」)

3 予算額

(1) 地域公共交通再構築ネットワーク協議会の開催 1, 042千円

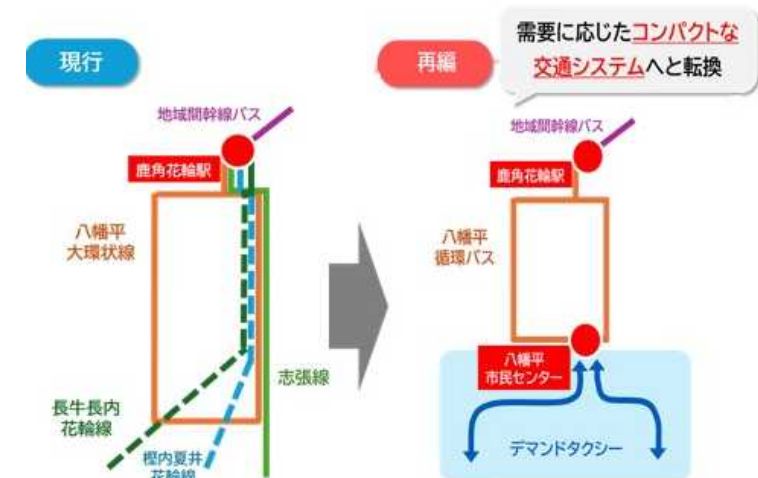
内訳

・報償費	60千円
・旅費	516千円
・需用費	50千円
・役務費	10千円
・使用料及び賃借料	406千円

(2) 地域公共交通再構築促進事業費補助 27, 178千円

内訳

・報償費	40千円
・旅費	78千円
・需用費	36千円
・使用料及び賃借料	24千円
・負担金補助及び交付金	27, 000千円



再構築前後の路線図
(鹿角市八幡平地区)

1 目 的

「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく、県全体の地域公共交通に関する取組の方向性等を示す「秋田県地域公共交通計画」（令和4年度～8年度）について、計画期間が終了するため、次期計画（令和9年度～13年度）を策定する。

2 概 要

「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく法定協議会として、国、県、市町村、交通事業者等で構成する「秋田県地域公共交通活性化協議会」が主体となり、データの収集・分析から成案に至る策定業務を業務委託により実施する。

（1）秋田県地域公共交通活性化協議会の運営

秋田県地域公共交通活性化協議会を開催し、地域公共交通の利用促進や活性化に向けた方策を検討するとともに、地域公共交通計画を審議・策定する。

- ・ 構 成：県、秋田運輸支局、市町村、バス協会、ハイヤー協会、交通事業者、学識経験者、関連団体（福祉、教育、商工、観光）
- ・ 体 制：協議会、部会（4回程度開催予定）

（2）計画策定

委託業者は企画提案競技により決定し、次のスケジュールにより策定を進める。

【策定スケジュール】

- ・ R8. 4月 企画提案競技公募
- ・ R8. 5月 業務委託契約締結
- ・ R8. 6月～ 各種調査実施
- ・ R8. 9月 骨子案作成
- ・ R8. 12月 素案作成
- ・ 〃 パブリックコメント実施
- ・ R9. 2月 最終案作成

※ 9月、12月、2月の各県議会にて報告予定

3 予算額

19,904千円
(負担金補助及び交付金)



現行の地域公共交通計画（抜粋）

鉄道利用促進事業関連予算について

交通政策課

1 目 的

厳しい経営環境にある第三セクター鉄道及びＪＲローカル線について、日常利用や観光利用の促進等による利用拡大を図るため、沿線自治体間の情報共有や連携を強化するとともに、沿線自治体等による取組を支援する。

2 概 要

(1) 第三セクター鉄道利用促進事業

3, 7 9 6 千円

①三セク鉄道利用促進事業

2, 5 9 6 千円

沿線市や事業者、商工団体等で構成する「秋田内陸地域公共交通連携協議会」及び「鳥海山ろく線運営促進連絡協議会」へ負担金を支出し、県内外へのＰＲや学校行事での利用促進などを支援する。

②「秋田内陸線の旅」制作事業

1, 2 0 0 千円

沿線市や大館市、弘前市等で構成する「秋田内陸線・奥羽北線沿線連絡協議会」へ負担金を支出し、首都圏における観光情報の発信などを支援する。



秋田内陸地域公共交通連携協議会

田んぼアート（秋田内陸線）

(2) ＪＲローカル線活性化促進事業

6, 3 6 0 千円

①秋田県ローカル線維持・活性化協議会の開催

2 2 0 千円

県内ＪＲローカル線の沿線自治体、関係交通機関等が出席し、情報や課題を共有するとともに、今後の取組の方向性等について協議を行う。

②岩手県と協調した沿線自治体支援事業

6, 1 4 0 千円

○ＪＲ花輪線及び北上線活性化対策自治体会議への出席

6 0 千円

沿線自治体及び秋田・岩手の両県が出席し、路線の活性化や今後の取組方針等について協議を行う。

○ＪＲローカル線利用促進事業費補助金

6, 0 8 0 千円

ＪＲ花輪線及び北上線の利用促進に向けた沿線自治体等による取組を支援する。

・補助対象：各沿線の利用促進協議会又は自治体

・補助率：１／２以内



鳥海山ろく線運営促進連絡協議会

おばこ特産品まつり（鳥海山ろく線）

3 予算額

(1) 第三セクター鉄道利用促進事業

内訳

- ・旅費
- ・負担金補助及び交付金

3, 7 9 6 千円

1 7 0 千円

3, 6 2 6 千円

(2) JRローカル線活性化促進事業

①秋田県ローカル線維持・活性化協議会の開催

内 訳

- ・報償費
- ・旅 費
- ・需用費
- ・役務費
- ・使用料及び賃借料

6, 3 6 0 千円

2 2 0 千円

3 0 千円

7 5 千円

3 5 千円

5 千円

7 5 千円

②岩手県と協調した沿線自治体支援事業

内 訳

- ・旅 費
- ・需用費
- ・使用料
- ・負担金補助及び交付金

6, 1 4 0 千円

7 5 千円

1 8 千円

4 7 千円

6, 0 0 0 千円



花輪線利用促進協議会
サイクルトレイン実証実験（花輪線）



北上線利用促進協議会
沿線小学生乗車体験（北上線）

第三セクター鉄道関連予算について

交通政策課

1 目 的

第三セクター鉄道の持続的な運行を図るため、鉄道事業再構築実施計画に基づき鉄道の安全運行に必要な設備投資及び維持管理等に対して補助するほか、経営の安定を図るため、鉄道事業の運営に必要な経費について補助する。

2 概 要

(1) 第三セクター鉄道事業再構築推進事業 178,702千円

①鉄道軌道輸送対策事業 130,952千円

〔内訳：秋田内陸縦貫鉄道 97,952千円 由利高原鉄道 33,000千円〕

第三セクター鉄道の安全対策に係る設備投資等に対して国と協調して補助する。

- ・維持修繕：車両修繕等（国1／2、県1／2）
- ・維持管理：小規模修繕等（10／10）

②地方鉄道運営費補助事業 47,750千円

〔内訳：秋田内陸縦貫鉄道 33,750千円 由利高原鉄道 14,000千円〕

鉄道事業運営に必要な費用の一部を沿線市等と協調して補助する。

- ・補助上限額：秋田内陸縦貫鉄道 165,000千円＜北秋田市、仙北市、上小阿仁村と協調＞
由利高原鉄道 令和7年度経常損失額＜由利本荘市と協調＞

(2) 第三セクター鉄道運営助成基金積立金 5,796千円

〔内訳：秋田内陸縦貫鉄道 4,125千円 由利高原鉄道 1,671千円〕

鉄道の維持確保及び経営基盤の安定化を図るため設置している基金に、基金運用益（受取利息）を積み立てる。



鉄の三兄弟（縄文号/EM1/マタギ号）
（秋田内陸線）



ノスタルジクトレイン
（鳥海山ろく線）

3 予算額

(1) 第三セクター鉄道事業再構築推進事業 178,702千円（負担金補助及び交付金）

(2) 第三セクター鉄道運営助成基金積立金 5,796千円（積立金）

1 目 的

文化芸術に対する県民の理解を深め、県内における文化の裾野を広げるため、発表機会の創出や優れた活動や作品の顕彰などにより、文化芸術活動に取り組みやすい環境づくりを推進する。

2 概 要

(1) 文化振興事業

25,994千円

文化芸術活動を支援し、顕彰等により創作・表現活動を増進する。

- ① 顕彰・発表機会の創出
芸術選奨、青少年音楽コンクール、「あきたの文芸」作品募集
- ② 活動助成事業
地域文化振興事業費補助金、国民文化祭派遣事業費補助金
- ③ 情報発信事業
あきた文化情報サイト「ブンカDEゲンキ」の運営、「あきた県民文化芸術祭」を通じた集中的・一体的な情報発信



青少年音楽コンクール

(2) あきた文化交流発信センター運営事業

19,293千円

文化芸術活動の発表の場を確保し、鑑賞の機会を提供するとともに、秋田の文化の発信を行う。

[施設名称] あきた文化交流発信センター（ふれあーるAKITA）

[所在地] フォンテAKITA 6階

[開館時間] 平日13時～19時、土日祝日10時～19時 ※月曜日休館



あきた民謡祭
(地域文化振興事業費補助金)

(3) あきた文化振興ビジョン管理推進事業

479千円

有識者等からなる文化芸術推進協議会において第4期あきた文化振興ビジョンの進行管理を行うほか、市町村職員等を対象とした研修会を実施する。

3 予算額

45,766千円

繰入金	14,804千円
諸収入	3,517千円
一般財源	27,445千円

※秋田県芸術文化振興基金
※(一財)地域創造からの助成金

(1) 文化振興事業

25,994千円

内 訳	・報酬	2,111千円
	・職員手当等	818千円
	・共済費	535千円
	・報償費	1,156千円
	・旅費	532千円
	・需用費	883千円
	・役務費	433千円
	・委託料	559千円
	・使用料及び賃借料	663千円
	・負担金補助及び交付金	18,304千円

委託料の内訳	・音楽コンクール ステージ運営	400千円
	・ウェブサイト運営 管理運営	159千円

(2) あきた文化交流発信センター運営事業

19,293千円

内 訳	・委託料	9,165千円
	・使用料及び賃借料	10,128千円

委託料の内訳	・スタッフ人件費	6,830千円
	・施設光熱水費	426千円
	・事務費	1,909千円

(3) あきた文化振興ビジョン管理推進事業

479千円

内訳	・報償費	144千円
	・旅費	204千円
	・需用費	83千円
	・役務費	20千円
	・使用料及び賃借料	28千円

文化芸術がつなぐ交流拡大事業について

文化振興課

1 目 的

文化芸術の振興と交流人口の拡大を図るため、「文化による地域の元気創出事業費補助金」により、県内の文化芸術団体等の取組を支援する。

2 概 要

(1) 通常枠

文化芸術団体が実施する文化振興の取組に対し助成する。

[補助率] 1／2 [限度額] 40万円 [想定事業数] 12事業

(2) 交流人口拡大枠

東北規模、全国規模の交流人口の拡大に資する取組に対し助成する。

[補助率] 2／3 [限度額] 300万円 [想定事業数] 9事業
(100万円×7事業、300万円×2事業)

(3) 活動応援枠

文化芸術団体の活動継続に資する取組に対し助成する。

[補助率] 2／3 [限度額] 20万円 [想定事業数] 3事業

(4) 若者応援枠

若者のグループが実施する文化振興の取組に対し助成する。

[補助率] 2／3 [限度額] 40万円 [想定事業数] 5事業

3 予算額

20,512千円 (繰入金20,512千円)

※秋田県芸術文化振興基金

内 訳	・ 報償費	30千円
	・ 旅費	32千円
	・ 需用費	50千円
	・ 負担金補助及び交付金	20,400千円



能代よさこい総おどり
(交流人口拡大枠)



読み聞かせ・演劇ワークショップ事業
(若者応援枠)

若手アーティスト等活動支援・担い手育成事業について【新規】

文化振興課

1 目 的

若手アーティスト等が地域の文化や人々と関わりながら作品制作等を行う場を提供することにより、その後の継続的な活動を支援するとともに、若者による本県文化の魅力の再認識と県内外に向けた情報発信の強化を図る。

2 概 要

(1) アート・デザイン分野における支援

4, 237千円

参加者が一定期間、対象地域に滞在又は通い、地域資源を活用した作品制作や空間デザインを行う活動に対する伴走支援を行うとともに、その過程を発信する。

・対象者：アート・デザイン分野で活動する概ね40歳以下の個人



(2) 映像分野における支援

2, 923千円

民俗芸能など地域に根ざした文化を題材とする映像作品制作に向けたワークショップ、現場実習等による伴走支援を行うとともに、作品を本県文化の情報発信に活用する。

・対象者：企画や撮影、編集等のノウハウ習得を希望する大学生等



事業イメージ

[スケジュール]	令和8年6月	参加者の公募・選定
	令和8年6月～	フィールドワーク、ワークショップ、制作活動・実習等
	令和8年10月～令和9年2月	アートイベント等の開催、映像作品の完成
[実施方法]	企画提案競技による委託	

3 予算額

7, 160千円（寄附金350千円、一般財源6, 810千円）

（1）アート・デザイン分野における支援

4, 237千円

内 訳	委託料	4, 157千円
	旅費	56千円
	需用費	9千円
	役務費	15千円

委託料の内訳	講師謝礼・旅費	
	アーティスト滞在費等 1,	1 0 0 千円
	広報・記録費	8 0 0 千円
	イベント開催費	3 3 8 千円
	拠点維持管理費	8 4 0 千円
	マネジメント費	6 0 0 千円
	調査費等	4 7 9 千円

（2）映像分野における支援

2, 923千円

内 訳	委託料	2, 843千円
	旅費	57千円
	需用費	8千円
	役務費	15千円

委託料の内訳	カリキュラム・教材作成費	520千円
	プログラム実施費	300千円
	映像機材費	250千円
	講師謝礼・旅費	500千円
	会場費	310千円
	広報費	200千円
	マネジメント費	235千円
	資料作成費等	528千円

県民読書環境整備事業について

文化振興課

1 目 的

「秋田県民の読書活動の推進に関する条例」及び「第4次秋田県読書活動推進基本計画」に基づき、県民が読書に親しみやすい環境づくりを行い、読書活動を推進する。

2 概 要

(1) 地域読書活動推進事業

342千円

子どもの読書環境を整備するため、県民寄贈の絵本や児童書を手入れした上で保育所や放課後児童クラブ等へ配布する。

【読んだッチ・リレー文庫について】 <https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/31989>



読んだッチ・リレー文庫

(2) 県民読書の日啓発事業

1,977千円

11月1日の「県民読書の日」にちなみ、多くの人に秋田への愛着を深めてもらうとともに、広く読書に親しむ気運を高めるため「ふるさと秋田文学賞」の作品を募集し作品集を制作する。

(3) 「楽しく読書！」県民運動推進事業

6,270千円

多くの県民が読書を楽しく身近なものとして捉え、本を手にとる機会が増えるよう、読書と親和性があり知名度の高いタレント等によるトークライブを行う。

- ・実施時期：令和8年11月1日（日）（予定）
- ・会 場：アトリオン音楽ホールほか
- ・委 託 先：企画提案競技により選定



読書の杜トークライブ



(4) 読書を通じた交流促進事業【新規】

835千円

読書への興味・関心を高めるため、民間団体と連携し、気軽に参加できる読書会やワークショップ等のイベントを開催することで、参加者同士の交流を促進する。

- ・実施時期：令和8年10月～11月（予定）
- ・会場：県内の文化施設や書店等
- ・委託先：県内で読書に関する活動を行っている民間団体

3 予算額

9,424千円

(1) 地域読書活動推進事業

342千円

内 訳	・旅 費	43千円
	・需用費	160千円
	・役務費	121千円
	・使用料及び賃借料	18千円

(2) 県民読書の日啓発事業

1,977千円

内 訳	・報償費	1,310千円
	・旅 費	157千円
	・需用費	322千円
	・役務費	188千円

(3) 「楽しく読書！」県民運動推進事業

6,270千円

内 訳	・報償費	75千円
	・旅 費	465千円
	・役務費	12千円
	・委託料	5,718千円
委託料の内訳	・出演者謝金	924千円
	・印刷製本費	1,271千円
	・広報掲載料	924千円
	・会場使用料	1,386千円
	・事務費・企画費ほか	1,213千円

(4) 読書を通じた交流促進事業

835千円

内 訳	・旅 費	15千円
	・役務費	20千円
	・委託料	800千円
委託料の内訳	・講師謝金	100千円
	・印刷製本等	300千円
	・会場使用料	100千円
	・企画費	300千円

スポーツ王国創成事業について

スポーツ振興課

1 目 的

「スポーツ立県あきた」の実現に向け、各競技団体が行う選手強化の取組を支援するとともに、将来有望なアスリートの発掘や、中高一貫指導による選手の育成・強化を図る。

2 概 要

- (1) スポーツ王国づくり強化事業 175,214千円
- ①選手強化対策等への支援 78,800千円
競技団体が実施する選手強化対策事業に対して補助する。
・補助対象：国民スポーツ大会競技41団体（種目別延べ48団体）
- ②スポーツ医科学サポート 15,941千円
県スポーツ科学センターにおいて選手に対する医科学サポートを実施する。
- ③競技力向上対策の実施 78,129千円
選手の育成・強化のための施策や競技団体への指導など、競技力向上対策を実施する。
・委託先：（公財）秋田県スポーツ協会（予定）
- ④競技力向上連絡協議会の開催 660千円
外部有識者の意見を聞きながら、競技力向上対策の効果を検証するとともに、今後の取組について検討を行う。
- ⑤デジタル技術によるスポーツ遠隔指導促進事業【新規】 1,684千円
地域格差や指導者不足を解消するため、質の高いトレーニング環境の提供や、スポーツ参画しやすい機会の拡大を支援する。



第79回国民スポーツ大会
ラグビーフットボール成年男子優勝



遠隔指導システム

(2) アスリート輩出のためのタレント発掘事業 8, 135千円

才能豊かなアスリートの発掘・育成・強化に向け、県スポーツ科学センターにおいて「AKITAスーパーわか杉っ子発掘プロジェクト」を実施する。

・対象競技：フェンシング、スピードスケート、ライフル射撃



AKITAスーパーわか杉っ子発掘プロジェクト「フェンシング」

(3) チームAKITA強化事業 60, 140千円

①チームAKITA強化・育成システム 33, 014千円

県中学・高校選抜選手を対象とした定期練習会の開催等により、個々のレベル強化を通じたジュニア層全体のレベルアップを図るほか、上級資格等の取得を目指す指導者養成・資質向上に取り組む競技団体を支援する。

・補助対象：10指定競技団体（スピードスケート、スキー、陸上競技、新体操、レスリング、相撲、ラグビーフットボール、卓球、空手道、ローイング）



チームAKITA強化・育成システム「強化練習」

②チームAKITAスタートアップ支援 14, 800千円

「チームAKITA強化・育成システム」の導入につなげるため、小中学生及び高校生を対象とした定期的な合同練習会の開催等、個々のレベルに応じた適切な指導を行う競技団体を支援する。

・補助対象：県内の競技団体（①指定競技団体を除く）

③中学生強化選手の指定・育成 12, 326千円

国民スポーツ大会やインターハイ等の全国大会で上位入賞が期待される将来有望な中学生を強化選手に指定し、ジュニア育成アドバイザーを中心とした競技力向上研修等を実施する。

・委託先：(公財)秋田県スポーツ協会（予定）



中学生強化選手
「スキー競技」

3 予算額

243,489千円

・ 諸収入	4,481千円
・ 一般財源	239,008千円

(1) スポーツ王国づくり強化事業

175,214千円

内 訳

・ 人件費	8,703千円
・ 報償費	3,196千円
・ 旅 費	2,352千円
・ 需用費	362千円
・ 役務費	1,226千円
・ 委託料	78,129千円
・ 使用料及び賃借料	2,434千円
・ 負担金補助及び交付金	78,812千円

委託料の内訳

・ 県民スポーツ大会	1,518千円
・ 人件費	65,985千円
・ 事務費	10,626千円

(2) アスリート輩出のためのタレント発掘事業

8,135千円

内 訳

・ 報償費	682千円
・ 旅 費	5,793千円
・ 需用費	1,157千円
・ 役務費	327千円
・ 備品購入費	176千円

(3) チームAKITA強化事業

60,140千円

内 訳

・ 旅 費	94千円
・ 委託料	12,326千円
・ 負担金補助及び交付金	47,720千円

委託料の内訳

・ 人件費（ジュニア育成アドバイザー）	8,854千円
・ 中学生強化選手育成	3,472千円

県有体育施設整備・改修事業について

スポーツ振興課

1 目的

県有体育施設について、利用者の安全・安心を確保するとともに、各種競技大会を支障なく開催できるよう施設・設備の改修等を実施する。

2 概要

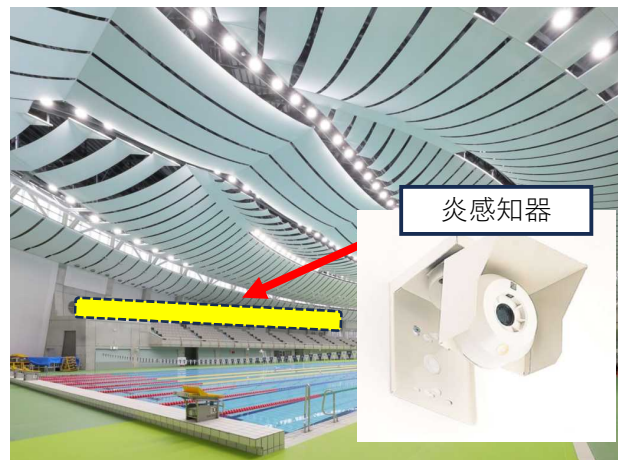
(1) 県立総合プール

132,714千円

- ・光熱費削減のため温水設備（ヒートポンプチャラー）の増設
- ・経年劣化により不具合が発生している炎感知器の修繕
- ・経年劣化により不具合が発生している競泳競技リザルトシステム更新
- ・量水器の更新



ヒートポンプチャラー



炎感知器設置箇所（2F観客席壁側）



競泳競技リザルトシステム

(2) 県立スケート場 566千円
・量水器の更新

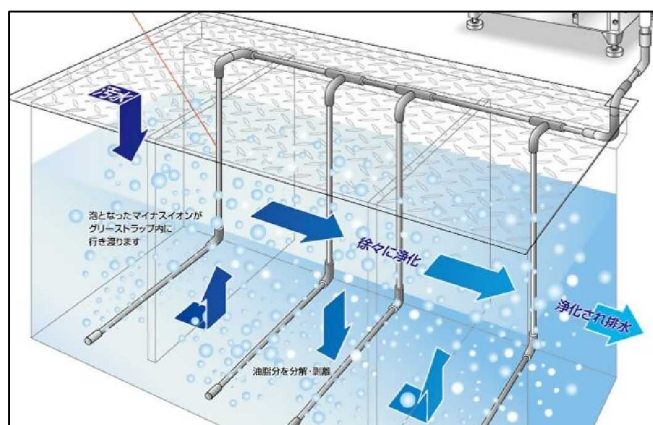
(3) 県立野球場 1,114千円
・量水器の更新

(4) 県立武道館 1,431千円
・量水器の更新

(5) 能代山本スポーツリゾートセンター 3,608千円
・経年劣化により不具合が発生している浄化槽散気管の修繕



量水器



散気管

3 予算額

	139,433千円
・国庫支出金	63,740千円
・県債	23,800千円
・一般財源	51,893千円

内 訳	・需用費（修繕費）	36,812千円
	・工事請負費	102,621千円

スポーツのすそ野拡大事業について

スポーツ振興課

1 目 的

将来指導者としても活躍できるアスリートの県内就職を支援するとともに、女性アスリートが生涯にわたってスポーツを継続するための環境づくりや、小中学生が身近な場所で様々なスポーツに触れる機会の拡充により、県内スポーツ人口のすそ野拡大を図る。

2 概 要

(1) アスリートのキャリア支援

1 2, 2 3 3 千円

①アスリート等と企業等のマッチングサポート事業

5, 6 3 3 千円

県内に就職し競技の継続を希望するアスリート等と企業等とのマッチングサポートを行う。

- ・実施内容：無料職業紹介事業による就職支援
就職推進アドバイザーの配置（1名）、アスリート等への周知、情報提供等
- ・委 託 先：(公財)秋田県スポーツ協会（予定）

②秋田県トップアスリート正規雇用奨励金

3, 0 0 0 千円

トップアスリート等を雇用した企業等に対し、競技レベルに応じて奨励金を支給する。

- ・支 給 額：1 0 0 千円～1, 0 0 0 千円／人

③秋田県トップアスリート競技活動サポート補助金

3, 6 0 0 千円

トップアスリートの競技活動経費をサポートする企業等に補助する。

- ・補助上限：1, 2 0 0 千円／人



アスリート等支援企業セミナー



事業紹介パンフレット

(2) 女性アスリート支援

1, 606千円

女性アスリートの三主徴（エネルギー不足、無月経、骨粗鬆症）への対処方法を改善し、女子中高生が生涯にわたって競技を継続しやすい環境を整備する。

- ・有識者等による女性アスリートサポート委員会の開催
- ・医師や栄養士等による講習会・相談会の実施
- ・女子中高生アスリートを対象とする血液検査の実施とフィードバック



女性アスリート講習会

(3) スポーツの推進に向けた体制整備

23, 882千円

県民が日常的にスポーツに親しめる環境づくりを進めるため、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブなど、地域のスポーツ活動団体を支援するほか、本県スポーツの振興に寄与し、功績が顕著な個人・団体を顕彰する。

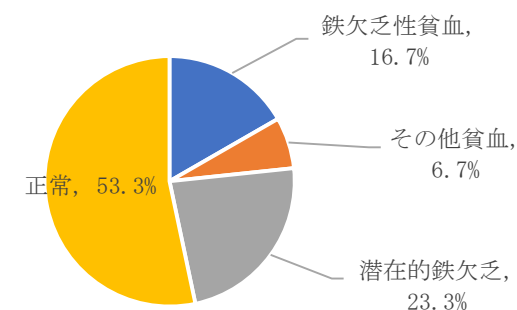
- ・委託先：（公財）秋田県スポーツ協会（予定）



スポーツ少年団活動



スポーツ表彰事業



■鉄欠乏性貧血 ■その他貧血 ■潜在的鉄欠乏 ■正常

血液検査の傾向結果

3 予算額

37,721千円

(1) アスリートのキャリア支援

12,233千円

内 訳

・ 報償費	3,000千円
・ 委託料	5,633千円
・ 負担金補助及び交付金	3,600千円

委託料の内訳

・ 人件費	4,099千円
・ アドバイザー活動	909千円
・ 物件費	625千円

(2) 女性アスリート支援

1,606千円

内 訳

・ 報償費	600千円
・ 旅 費	160千円
・ 需用費	101千円
・ 役務費	623千円
・ 使用料及び賃借料	122千円

(3) スポーツの推進に向けた体制整備

23,882千円

内 訳

・ 委託料	23,882千円
-------	----------

委託料の内訳

・ スポーツ表彰	2,540千円
・ スポーツ少年団運営	2,827千円
・ 人件費	17,415千円
・ 普及奨励事業	1,100千円

1 目的

老朽化が進む県立体育館について、スポーツ科学センターの機能を集約したうえで、令和10年秋の開館に向け、PFI手法により整備する。

2 概要

(1) 新県立体育館整備・運営事業

4,939,965千円

PFI事業者との事業契約に基づき、造成工事、アリーナ棟整備工事等を行う。

- ・R8事業内容：造成工事、建築工事、工事監理業務 等
- ・委託先：秋田アリーナPFIパートナーズ株式会社

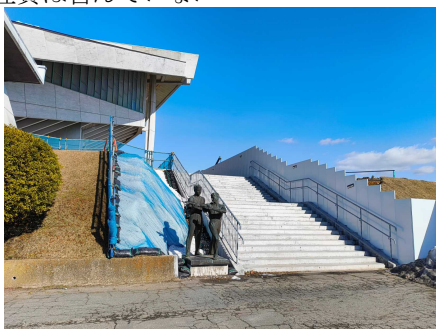
[＜事業者ウェブサイト＞](#)（工事の進捗やワークショップ開催の様子などを紹介）

○事業スケジュール等

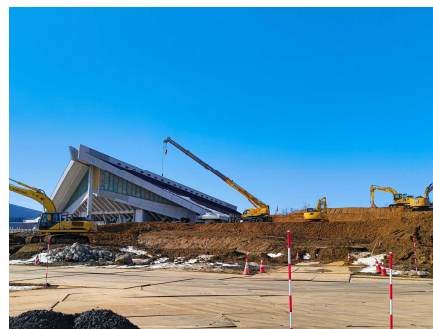
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12
建屋	造成	アリーナ棟整備		R10.9末供用開始		
外構等	第2駐車場 仮整備(100台) ※現体育館の臨時駐車場として活用		体育館棟整備	周辺外構整備 第2駐車場 整備(200台) R10.9末供用開始	緑地・遊具広場整備 第1駐車場 整備(200台) R12.4供用開始	
			現施設解体設計 (PFI事業対象外)	【時期未定】現体育館解体 (PFI事業対象外) 【時期未定】スポーツ科学センター解体 (PFI事業対象外)		
整備費※	2,017百万円	4,940百万円	7,187百万円	10,759百万円	508百万円	583百万円

※現施設の解体経費は含んでいない

建設地
の様子



現体育館の仮設階段の設置



敷地造成



第2駐車場仮整備(スロープ等整備)

(2) 新県立体育館モニタリング事業

5, 325千円

PFI事業者が提供するサービス水準を適正に確保するため、業務の監視（モニタリング）を行う。

- ・内 容：PFI事業者が行う施設整備業務や、財務状況等のモニタリング支援
- ・委託期間：令和8年4月～令和9年3月
- ・委託先：株式会社山下PMC（予定）

3 予算額

4, 945, 290千円

・社会資本整備総合交付金	217, 415千円
・防災・安全交付金	191, 186千円
・地域未来交付金	1, 197, 028千円
・県債	2, 689, 900千円
・一般財源	649, 761千円

(1) 新県立体育館整備・運営事業

4, 939, 965千円

(委託料)

委託料 の内訳	・SPCが行う施設整備業務等のサービス購入料 (造成工事、建築工事、工事監理業務 等)	
		4, 939, 514千円
	・埋蔵文化財調査	451千円

(2) 新県立体育館モニタリング事業

5, 325千円

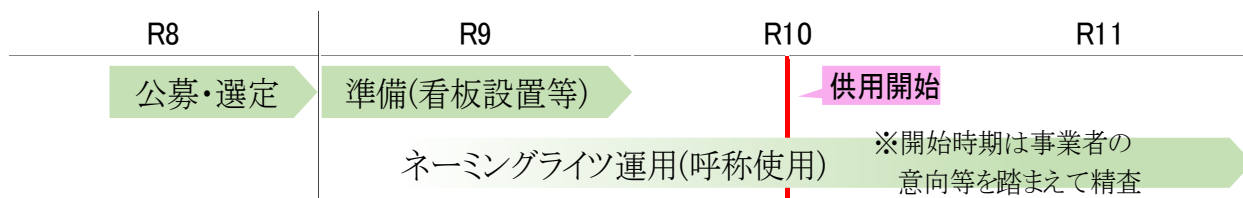
内 訳	・旅費	464千円
	・需用費	588千円
	・役務費	60千円
	・委託料	4, 180千円
	・使用料及び賃借料	33千円

委託料 の内訳	・技術モニタリング	3, 322千円
	・財務モニタリング	703千円
	・リーガルチェック	155千円

【参考】ネーミングライツについて

新県立体育館の開館に向けた機運醸成を図るため、令和8年度にネーミングライツの公募を行う。

- ・方針：基本計画に基づき、建物全体（例：〇〇アリーナ）のほか、特典として、個別施設への名称付与（例：〇〇ルーム）を検討
- ・今後の対応：サウンディング調査を踏まえ金額等の条件を整理
令和8年度に公募・決定（広告事業審査会で審査）
- ・スケジュール（予定）



公募型サウンディング調査（令和7年10月実施）

●主な設定条件 ※決定ではない

- ・権利内容：施設外壁への看板掲出、広報媒体への表示等
- ・設定金額：1年当たり22,000千円以上
- ・設定期間：5年以上

●主な意見

- ・設定金額は10,000千円未満が妥当
- ・メディア露出が相当数見込まれ、設定金額は妥当
- ・名称の定着や看板の劣化等を考慮すると設定期間は5年程度が妥当
- ・供用開始前からの使用により名称が定着する
- ・企業イメージや認知度の向上が期待できる
- ・県内における人材獲得のPRにつなげたい
- ・金額のほか地域貢献の取組等も評価してほしい



新県立体育館完成イメージ

1 目的

新県立体育館整備による賑わいを波及させるため、スポーツ観戦に訪れた観光客等に対し地域事業者が効果的なサービスを提供できるよう支援する。

2 概要

意欲のある地域事業者（観光、飲食、宿泊等）を対象に人流データを活用した実践的なワークショップを開催するほか、関係機関が連携し課題に取り組むための協議会を設立する。

・事業内容：

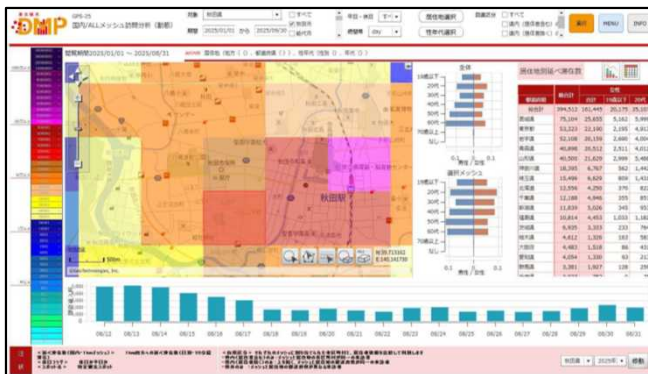
①地域事業者を対象としたワークショップの開催

- ・人流データ分析手法の研修
- ・データ分析結果を基にしたアクション検討
- ・アクション実施・効果検証（R 9以降）

【賑わい波及のイメージ】



【分析手法例】クロス分析（人流データ分析×検索データ分析）



順位	検索キーワード	検索ボリューム	上昇率	性別割合	年代別割合
1	確定申告	105,000人	↑ 0.827		
2	ふるさと納税 いつまで	102,000人	↑ 0.927		
3	ワンストップ特例制度	78,900人	↑ 0.623		
4	Ideco 改正 2025	53,500人	↑ 0.796		
5	ふるさと納税 シミュレーション	47,800人	↑ 0.735		
6	ふるさと納税 シミュレーション	40,200人	↑ 0.743		
7	確定申告 開届	38,900人	↑ 0.776		
8	医療費控除 確定申告	38,400人	↑ 0.821		

【アクション検討例】

＜分析結果＞

- ・「試合前は家族でゆっくり過ごしたい」「インスタ映えも欲しい」という考えを持つターゲット（ペルソナ）を設定

＜アクション＞

- ・ペルソナを想定した効果的・効率的なサービスを提供

○人流データ分析（メッシュ訪問分析）

- ・試合前に秋田駅前の滞在者数が増加
- ・30～40代の女性・家族連れが多い
- ・試合前は川反エリアの滞在者数が少ない

○検索データ分析

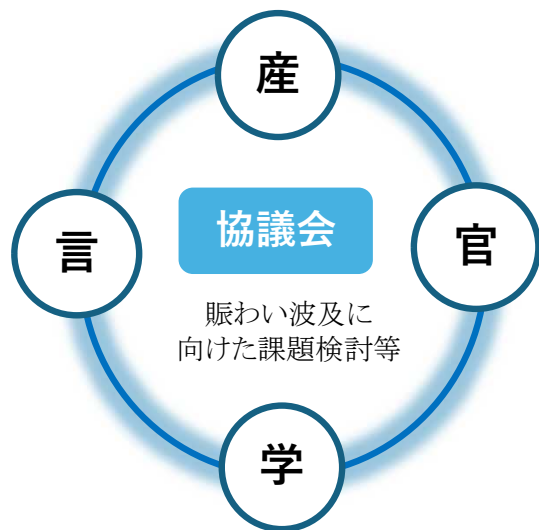
- ・試合前に「カフェ 子ども インスタ映え」のキーワードが増加

○分析結果に基づくアクション

- ・家族層を取り込むサービスや「映える」サービスを各エリアで提供

②関係機関による協議会の設立

- ・産・官・学・言で構成する協議会を設立し、地域事業者と連携した各種取組を実施
- ・賑わい波及に向けた課題の検討のほか、構成団体が主体的に取り組む事項の検討等



構成		役割等
産	商工会議所 交通事業者 等	・地域事業者の取組支援 ・公共交通機関の利用促進
官	県 秋田市 SPC	・総合調整 ・新県立体育館整備・運営事業との連携
学	大学	・協議会の統括、先進事例研究
言	報道機関	・機運醸成、シビックプライド醸成

※①、②ともに企画提案競技により選定するコンサルが伴走支援

3 スケジュール

項目 \ 年度	R8	R9	R10	R11～
地域事業者		ワークショップ	アリーナ供用開始	自走
		アクション検討・実施・効果検証		
協議会	設立	協議会運営		
		課題検討・構成団体の取組検討		

4 予算額

17,000千円
(委託料)

・地域未来交付金	8,500千円
・一般財源	8,500千円

委託料の内訳

・人流データ分析支援	6,000千円
・ワークショップ開催等支援	11,000千円

1 目 的

スポーツツーリズムの推進による交流・関係人口の拡大を図るため、県外からのスポーツ合宿の誘致を行うとともに、地域の賑わいづくりや県外からの誘客に資するスポーツ大会・イベントの開催を支援する。

2 概 要

(1) スポーツ合宿推進事業

5, 184 千円

県外のスポーツチーム等が県内で行うスポーツ合宿について、宿泊費の一部を補助する。

①一般

・要 件：次の全ての要件を満たすこと

- ①夏期（4月～10月）は連続3泊以上であること
冬期（11月～3月）は連続2泊以上であること
- ②県内スポーツ施設及び県内宿泊施設を利用すること
- ③県内スポーツ団体や地域住民との交流等を行うこと
- ④合宿後のアンケート調査に協力すること

・補 助 額：1人1泊当たり 1 千円

・補助上限額：1団体当たり 夏期 300 千円
冬期 400 千円

②プロスポーツチーム【拡充】

・要 件：次の全ての要件を満たすこと

- ①連続3泊以上であること
- ②県内スポーツ施設及び県内宿泊施設を利用すること
- ③県内スポーツ団体や地域住民との交流等を行うこと

・補 助 額：1人1泊当たり 1 千円

・補助上限額：1団体当たり 1, 000 千円



スポーツ合宿
【大学準硬式野球部】

(2) スポーツ大会・イベント支援事業

8, 163千円

スポーツイベントを活用した誘客を促進するため、県外からの誘客が見込まれる大会・イベントの開催に要する経費に対し助成する。

① トップアスリート大会

2, 000千円

- ・補助対象：トップアスリートが参加するスポーツ大会
- ・補助率：1／2
- ・補助上限額：1, 000千円



トップアスリート大会
【Wリーグ】

② 広域大会・大規模スポーツ大会

5, 000千円

- ・補助対象：県内の2市町村以上が連携して行うスポーツ大会、又は、県内宿泊施設への宿泊が延べ1, 000人泊以上見込まれる大会
- ・補助率：1／2
- ・補助上限額：2, 000千円、又は、3, 000千円
- ・補助予定：100キロチャレンジマラソン大会
全日本スキー技術選手権大会（たざわ湖スキー場）

【参考】第62回全日本スキー技術選手権大会

<https://www.youtube.com/watch?v=3dR1LDPHwsk>



広域大会・大規模スポーツ大会
【100kmチャレンジマラソン】

③ 冬季スポーツ大会

1, 000千円

- ・補助対象：地域活性化につながる冬季のスポーツ大会
- ・補助率：1／2
- ・補助上限額：1, 000千円



冬季スポーツ大会の例
【スカイスノーランニング】

(3) トップスポーツチームによる地域活性化事業 29, 262千円

トップスポーツチームが実施する県外からの誘客につながるPR活動や子どものスポーツ機会の確保に関する取組を支援する。

・補助額：秋田ノーザンハピネッツ	11, 000千円
ブラウブリッツ秋田	11, 000千円
秋田ノーザンブレッツ	7, 000千円



地域貢献活動風景

3 予算額 42, 609千円

・「あきた元気！WAON」スポーツ振興に関する寄附金	5, 100千円
・地域未来交付金	296千円
・一般財源	37, 213千円

(1) スポーツ合宿推進事業 5, 184千円

内訳	
・旅費	500千円
・需用費	672千円
・役務費	12千円
・負担金補助及び交付金	4, 000千円

(2) スポーツ大会・イベント支援事業 8, 163千円

内訳	
・旅費	66千円
・需要費	72千円
・役務費	12千円
・使用料及び賃借料	13千円
・負担金補助及び交付金	8, 000千円

(3) トップスポーツチームによる地域活性化事業 29, 262千円

内訳	
・需用費	262千円
・負担金補助及び交付金	29, 000千円